

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	健康相談事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	保健課		包含する細々目	1	4	1	3	11	4	2,405	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	31 心と体の健康づくり												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	年度～	年度	関連計画条例等	健康いいた21 健康増進法 介護保険法							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	40歳以上の市民	40歳以上の人口 人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			63400			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	・市民が気軽に心や体の健康について相談ができ、早期に適切な対応をすることで、健康が保持増進される。 ・治療の必要なケ-スが、適切に医療につながる。	基本健康診査後の精密検査受診率 % (9項目)	18目標	75	最終目標	
			18実績	67.4	19目標	75
こころの相談窓口相談延べ人数		23目標	80	23実績		最終目標達成年度
		18目標	30	最終目標		
		18実績	19	19目標	25	↑
		23目標	40	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	心身の健康に関する相談に応じて、健康増進や疾病予防のために個人の生活に合わせた指導や助言を行う。とくに近年社会情勢の変化により、ストレスを受け不安を抱えたまま解消できない市民が増加しているため、気軽に相談できる窓口を開設している。	18年度の実績	・こころの相談窓口を毎月第2・4月曜日に保健センターで実施する。 ・生活習慣病予防の観点からメタボリックシンドロ-ム(内蔵肥満症候群)を重点に健康相談を行う。 ・各地区で機会を捉え随時健康相談を実施する。	心の相談実施延べ人数 個別支援プログラムによる指導人数 随時相談回数・人数	心の相談延べ19人 指導実人員132人 459回58人 16人
		19年度計画	・メタボリックシンドロ-ム(内蔵肥満症候群)を重点に健康相談を行う。 ・地域で随時実施する健康相談 ・こころの相談窓口は、高齢者健康相談事業として介護保険特別会計で実施	個別支援プログラムによる指導延べ人数 相談回数・人数	指導実人員 相談回数 人数

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金	684	163
	県支出金	684	204
	起債		
	その他		
	一般財源	2,265	2,038
	事業費計(A)	3,633	2,405
人件費	正規職員所要時間	18年度 3,120	19年度 3,120
	臨時職員等所要時間	1,440	1,300
	人件費計(B)	12,705	12,555
	トータルコストA+B	16,338	14,960

特定財源内訳や補足事項
19年度より65歳以上の相談事業は介護保険介護予防事業に移行する。

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民が心身ともに健康を保つ	心身ともに健康であると感じている市民の割合 %	現状値	62.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	63
	一人当たりの国保医療費 円		現状値	358347	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	365000	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>保健師が市に設置されて以来、事業は実施されているが、老人保健法により、保健事業の一つとして健康相談が定められている。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>社会情勢の変化から、さまざまなストレスにより不安を持つ人が増え、自殺者も増加している。こころの健康に関する相談件数も増えており、市民から心療内科受診についての問い合わせも多い。18年度より老人保健事業の改正があり65歳以上の対象者に対する健康相談は、介護保険の介護予防事業に移行した。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>市民からは心療内科についての問い合わせが多く、心療内科を開設してほしいという要望がある。自殺の原因が何かまた残された家族に対するケアについてどうしているかとの議会の質問があった。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>市民が気軽に心身の健康について相談できることにより、疾病の予防や早期発見・治療につながることも、より健康に暮らすことができる。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>糖尿病などの生活習慣病が急増しており、個々の日常生活に即した指導がより必要となっている。指導内容や方法について検討し、効果的な相談事業を行う必要がある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>従来の老人保健法による対象者(40以上の市民)にくわえ、生活習慣病予防の観点からさらに若い世代に対象を拡大する必要がある。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>市民の身近な相談窓口として、保健センターや各支所に駐在する保健師等が健康相談を実施しているが、事業の廃止は相談窓口の減少につながる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p> <p>職域で、実施している企業(主に大企業)はあるが、一般市民を対象にしている事業はない。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>健康増進法の事業の一つとして、市町村が実施することとされている。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)</p> <p>事業費のほとんどが、医師・保健師・歯科衛生士等スタッフの人件費であり、その削減は事業の縮小につながる。</p>
		<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>健康相談事業は保健事業の一つとして法律で定められており、市が実施・責任の主体であり事業費も負担すべきものである。</p>	

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>基本健康診査結果から指導の必要なハイスルク者をピックアップし、教室等への参加勧奨や個人の生活に即した保健指導を継続して行う。また終了後には結果の評価を行う。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>個別支援プログラムに沿った指導内容の実施。課題は個人の医療費の縮減等目に見える結果を出すことであるが、限られた期間とスタッフでプログラムを遂行出来るか。保健師、栄養士等の事業雇い上げを行う。</p>

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	